

## 環境保全活動及び環境教育等に関する 県民意識アンケートの結果①

### 【調査方法】

WEBによるアンケート送信、回答

### 【調査対象及び回答状況】

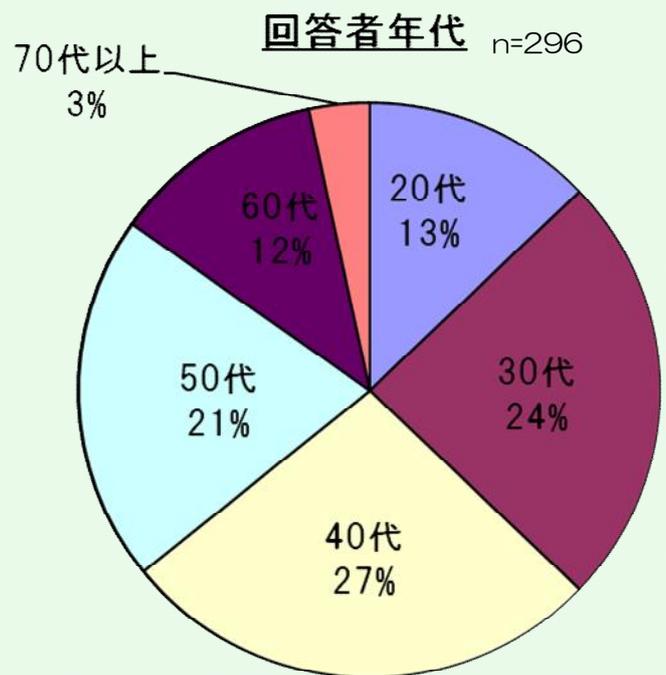
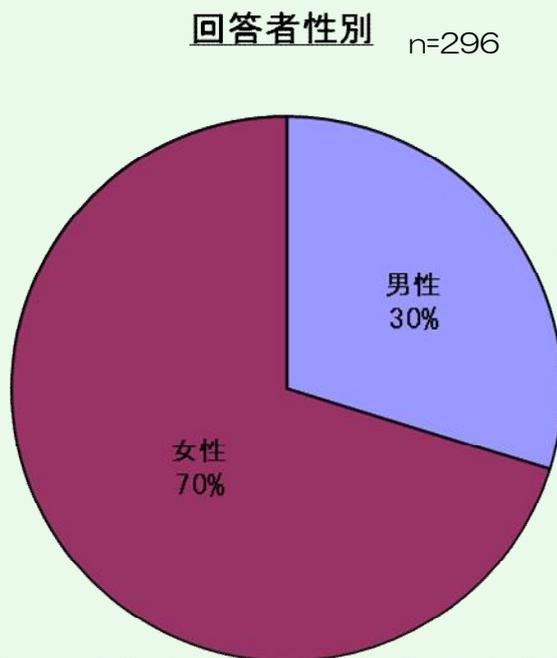
ながさきWEB県政アンケートモニター382

回答数296（回答率77.5%）

### 【調査実施期間】

平成25年7月17日（水）～7月27日（土）

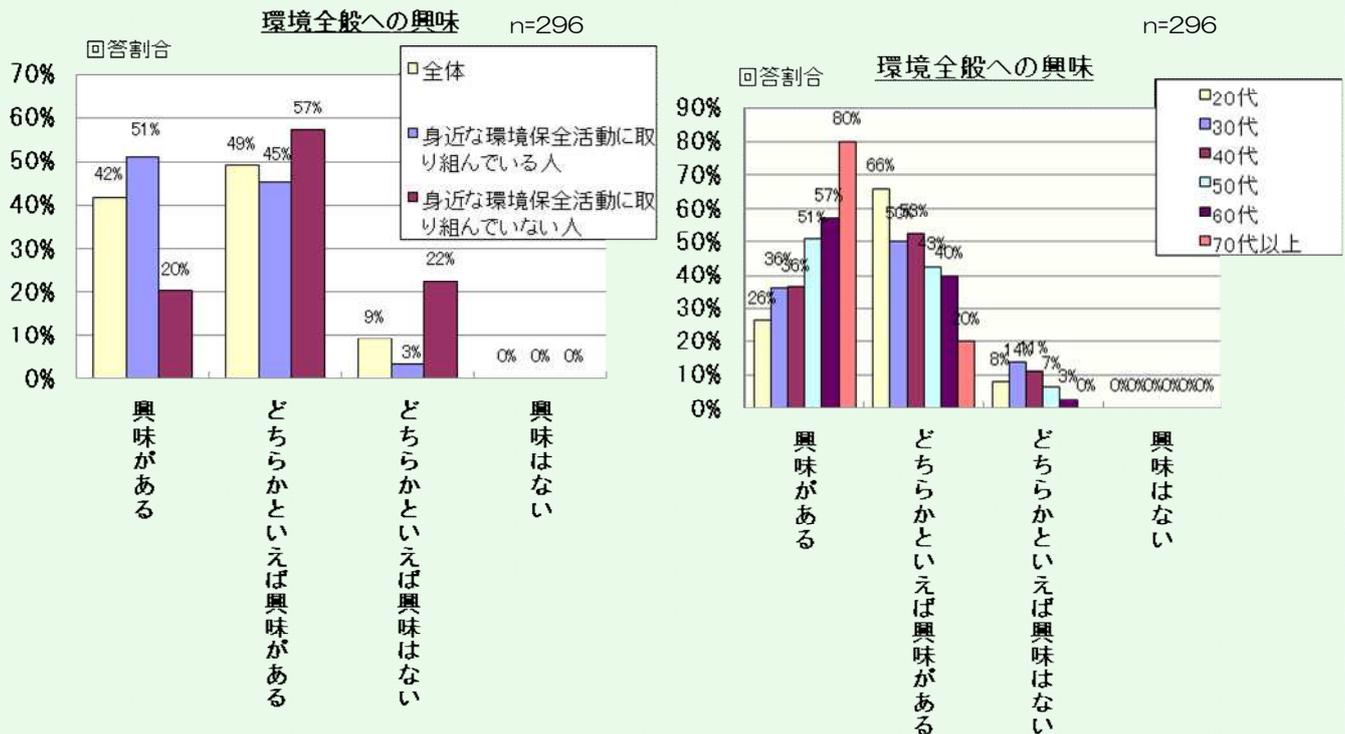
### 【属性】



## 環境保全活動及び環境教育等に関する 県民意識アンケートの結果②

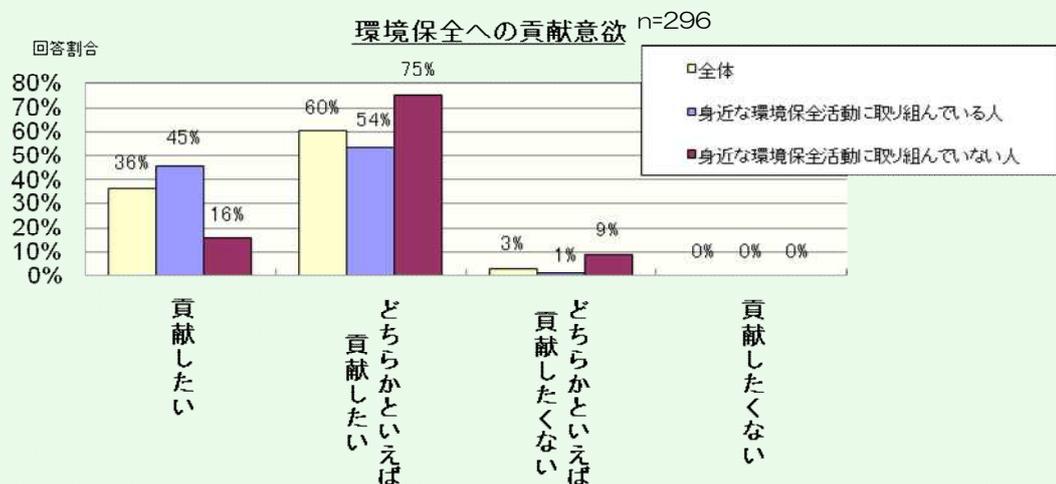
【Q1】あなたは、環境全般について興味がありますか。（1つ選択）

- 全体で91%、身近な環境保全活動に取り組んでいない人でも77%の人が環境全般に興味を持っている。
- 若年層ほど環境全般への興味が低い。



【Q2】あなたは、環境保全に貢献したいと思いますか。（1つ選択）

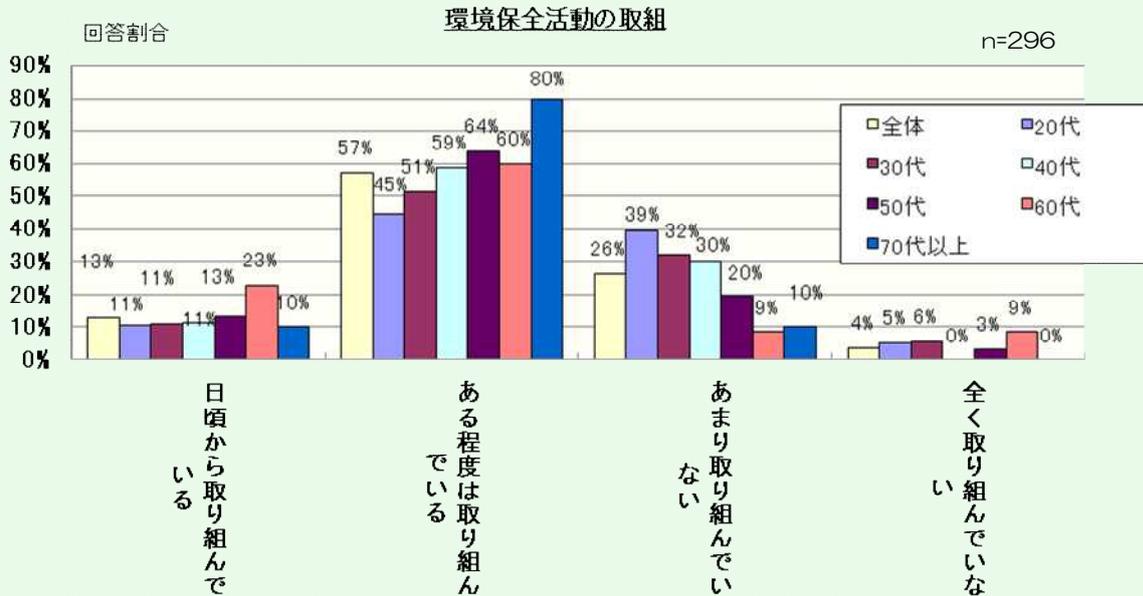
- 全体で96%、身近な環境保全活動に取り組んでいない人でも91%の人が環境保全に貢献したいと思っている。



## 環境保全活動及び環境教育等に関する 県民意識アンケートの結果③

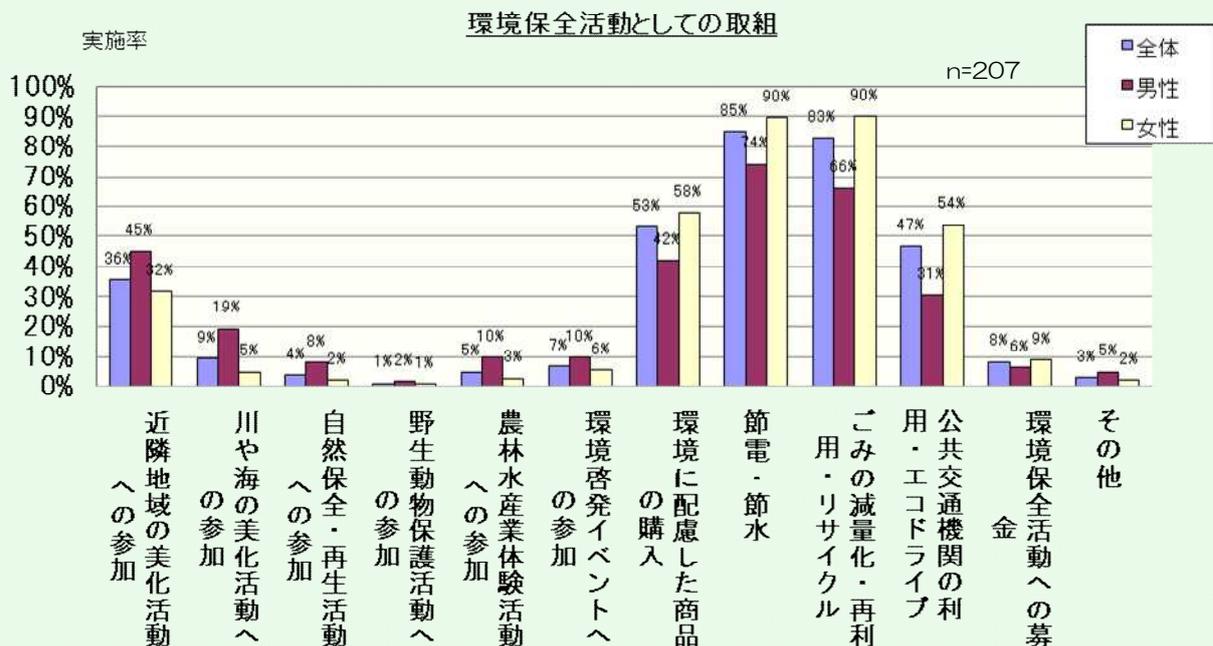
【Q3】あなたは、身近な環境保全活動に取り組んでいますか。（1つ選択）

- ・70%の人が身近な環境保全活動に取り組んでいるが、若年層ほど取り組んでいる人の割合が小さい。



【Q4】身近な環境保全活動としてどのような取り組みをしていますか。（複数選択可）

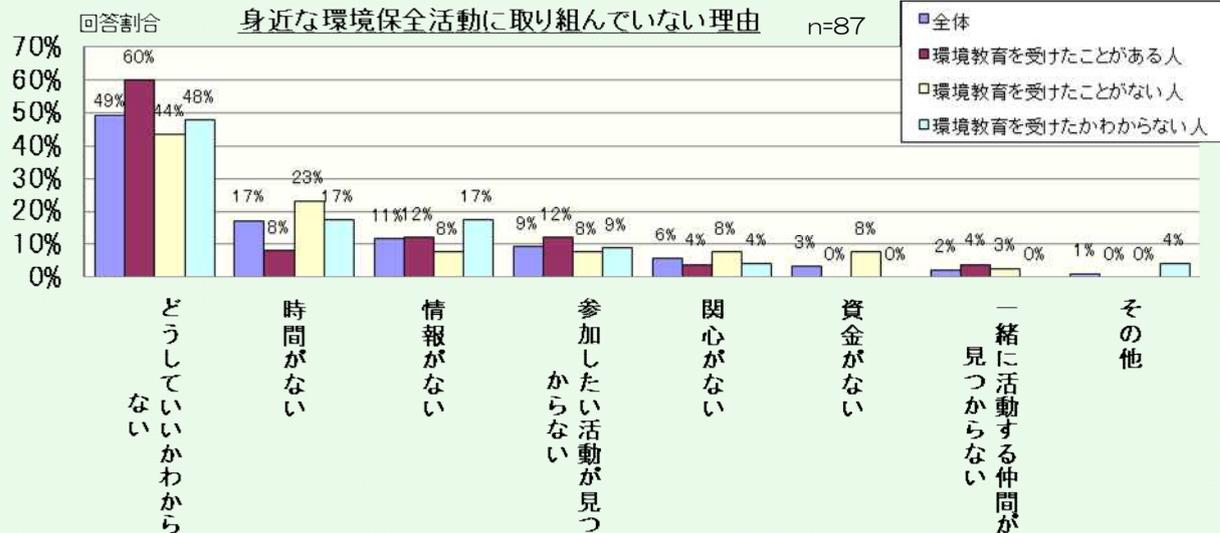
- ・「節電・節水」、「ごみの減量化・再利用・リサイクル」など家庭で実践できる取り組みの実施率が高い。
- ・女性は家庭で実践できる取り組みの実施率、男性は地域での取り組みの実施率が相対的に高い。



## 環境保全活動及び環境教育等に関する 県民意識アンケートの結果④

【Q5】身近な環境保全活動にあまり取り組んでいない又は全く取り組んでいない理由として最も当てはまるものを選んでください。（1つ選択）

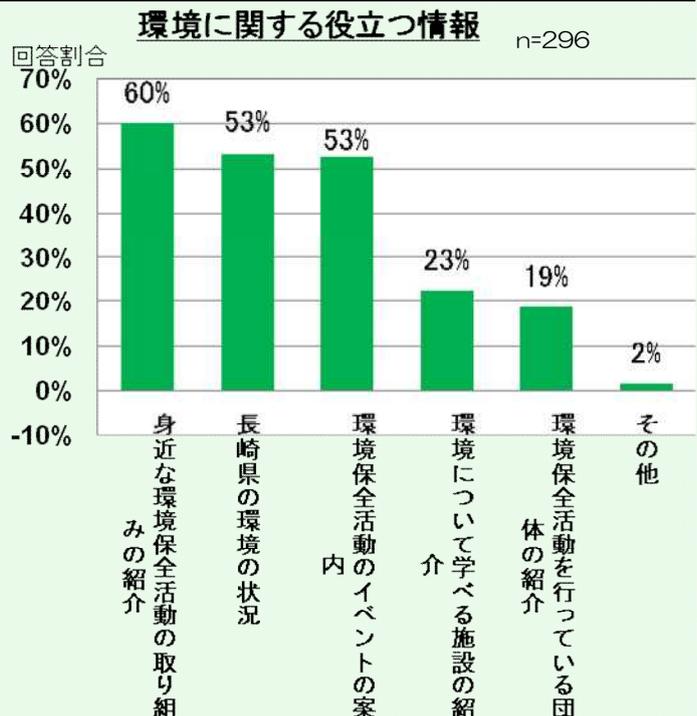
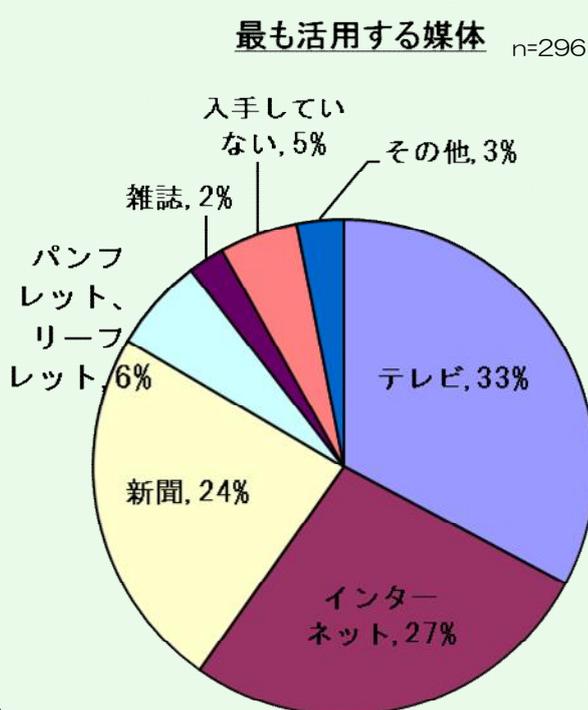
- 環境教育を受けたことがある人もない人も約半数の人が「どうしていいかわからない」と回答している。



【Q6】環境に関する情報を入手する際に最も活用する媒体は何ですか。（1つ選択）

【Q7】環境に関するどのような情報があれば役立つと思いますか。（1つ選択）

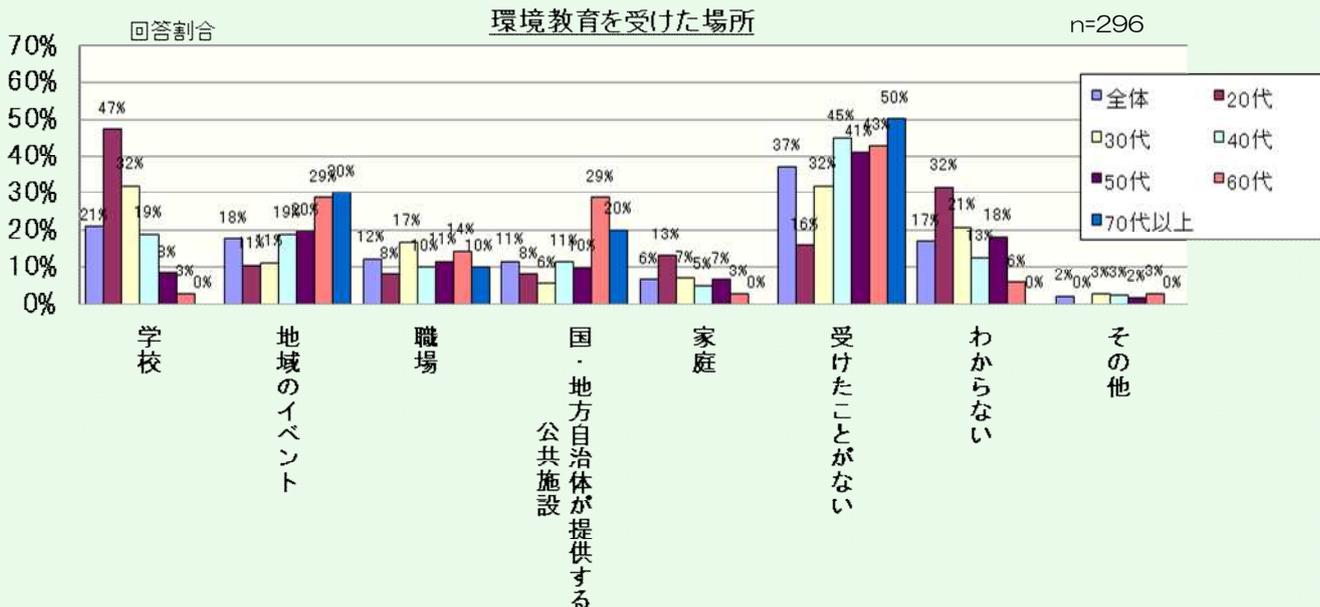
- 情報媒体としては、「テレビ」、「インターネット」、「新聞」が主に活用されている。
- 「身近な環境保全活動の取り組みの紹介」などの情報が求められている。



## 環境保全活動及び環境教育等に関する 県民意識アンケートの結果⑤

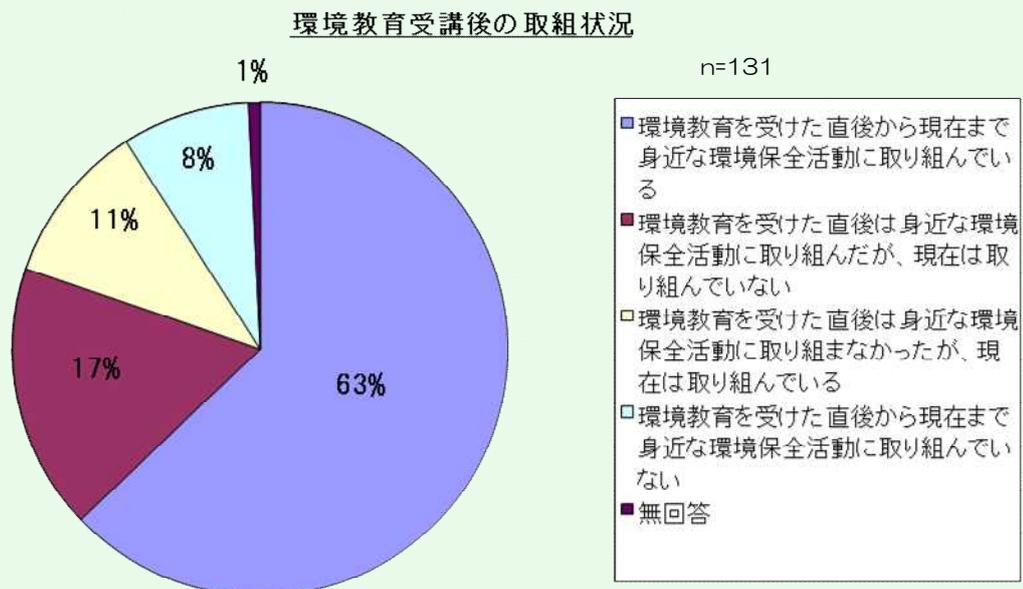
【Q8】あなたは、環境教育を受けたことがありますか。ある場合、どのような場で提供されましたか。（複数選択可）

- 全体で37%の人が環境教育を受けたことがないと回答している。
- 若年層は学校で環境教育を受けている人の割合が大きいですが、わからないと回答している人の割合も大きい。



【Q9】あなたは、環境教育を受けた後、身近な環境保全活動に取り組みましたか。（1つ選択）

- 環境教育を受けた直後から現在まで身近な環境保全活動に取り組んでいる人は63%。



## 環境保全活動及び環境教育等に関する 県民意識アンケートの結果⑥

【Q10】環境教育を受けた後、身近な環境保全活動を止めてしまった理由として最も当てはまるものを選んでください。（1つ選択）

【Q11】環境教育を受けた後、身近な環境保全活動に取り組まなかった理由として最も当てはまるものを選んでください。（1つ選択）

- 約半数の人が身近な環境保全活動を止めてしまった理由を「時間の経過とともに意欲が薄れた」ためとしている。
- 約半数の人が身近な環境保全活動に取り組まなかった理由を「どうしていいかわからなかった」ためとしている。

